

旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	令和 2 年 2 月 21 日
発信課	社会教育部 文化振興課
担当者	中井
連絡先	電 話 25-7558 FAX 25-8210 E-mail bunkashinko@city.asahikawa.lg.jp

分 類	イベント・行事
日 程	3 月 18 日 ～ 3 月 27 日
発表項目 (行事名)	宮竹真澄・創作人形展
概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容 等を記入 すること。)	<p>旭川市民ギャラリー(宮下通11丁目 上川倉庫 蔵囲夢内)の展覧会を次のとおり開催しますので、周知の御協力をお願いいたします。</p> <p> 展覧会名 宮竹真澄・創作人形展 主催 宮竹真澄・心のふる里人形展実行委員会 後援 旭川市, 旭川市教育委員会, 北海道新聞旭川支社 内容 人形作家宮竹真澄の創作人形の展示 日時 令和2年3月18日(水)～令和2年3月27日(金) 午前11時から午後5時まで 入場料 一般500円, 高大生300円, 小中生100円 </p> <p>※プロフィールはチラシ裏面にあります。</p>
添付資料	<p>有 宮竹真澄・創作人形展チラシ ※チラシ表裏画像データ添付</p> <p>※有の場合、資料の内容を記入すること。なお、別途冊子等の配付を希望する場合は、その旨記入すること。</p>
報道(取材)に当たっ てのお願い	<p>お問合せにつきましては文化振興課(担当:中井)まで御連絡ください。 【文化振興課 TEL25-7558】</p>
備 考	



宮竹真澄・創作人形展

2020年3月18日(水)～3月27日(金)

旭川市民ギャラリー

【時間】11時～17時

【料金】一般500円、高大生300円、小中生100円

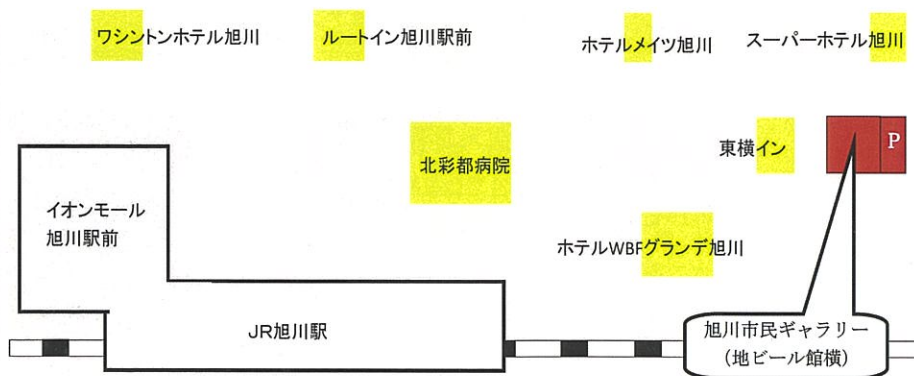
【主催】宮竹真澄・心のふる里人形展実行委員会

【後援】旭川市、旭川市教育委員会、北海道新聞旭川支社

【アクセス】(〒070-0030 旭川市宮下通11丁目 上川倉庫蔵井夢)
JR旭川駅から徒歩10分以内 電話：0166-23-3000



なしたの…、話してごらん、
聞いてあげる事ならできますよ。
-NHK札幌・「笑顔を灯す人形を作る」から-



宮竹真澄プロフィール



昭和24年、大分県宇佐市出身。教員だった父の関係で幼少から青春期を宇佐市の柳ヶ浦、長洲、長峰で過ごし、四日市高校（現宇佐高校に統合）を卒業後、福岡の中村調理専門学校に進む。昭和45年に上京し沖電気(株)に入社、昭和48年に結婚退社。以後、神奈川、東京で専業主婦の傍ら、独学で人形創作を始める。平成3年に脱サラした夫と共に、一家6人で北海道上川郡東川町に移住し現在に至る。

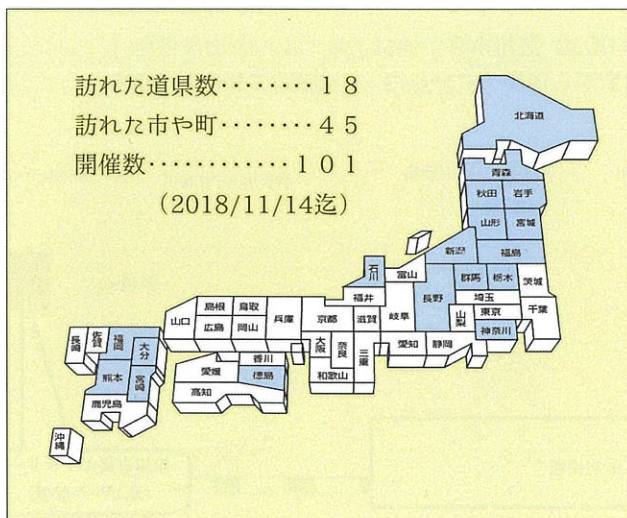
心のふる里人形展

独学で人形を作り始めたのは28歳の頃。以来、宮竹が、常に変わずテーマにするのは、明るく、逞しく生きる市井の人々。布を使わず粘土と水彩だけで創られた人形は、多彩な表現で不思議な感動の世界に誘います。幼少を過ごした浜の生活、多感な時期を暮らした農村の生活、周りには常に、明るく懸命に生きる人々がいました。高度成長からバブル期を専業主婦として暮らす傍ら、趣味で始めた人形創作は、平成3年の北海道移住によって大きく作風を変え、忘れていた故郷・宇佐での日々を思い出すように創作に没頭した。

平成20年には夫婦二人だけのスタッフで行う全国巡回展（心のふる里人形展）をスタートさせた。この人形展は、北海道から九州まで45市町で98回の開催を重ね、個人ペースの開催にも拘わらず、平成27年の北九州展、平成28年の酒田市美術館特別企画展、平成29年の東川展では施設も驚くほどの来場者を記録し、平成30年には、宮崎県総合博物館での長期開催を実現させ、翌年には、平成～令和と元号をまたぎ百回展を開催した。

一年譜一

- 1949年 大分県宇佐市に生まれる
- 1978年 独学で人形創作を始める
- 1991年 北海道移住
- 1992年 第8回人形道展 初入賞
- 2006年 第81回道展 初入選
2016年まで11回連続入選
- 2007年 東川町文化奨励賞
- 2008年 全国巡回展を開始
2018年10月までに97回の開催
- 2012年 三陸慰問展を開始
- 2015年 宇佐市合併10周年記念事業展
- 2016年 酒田市美術館特別企画展
- 2016年 道展会友となる
- 2017年 10周年記念東川展
- 2018年 宮崎県総合博物館で開催
- 2019年 大分県立美術館で百回展開催



ギャラリートークー(2016年3月 酒田市美術館)